

令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建－2 道路改築事業
一般国道207号
(佐瀬拡幅Ⅱ)

事業主体 長崎県

再評価
の理由 事業採択後5年経過
(事業費・工期)



1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (R3新規)		R3	R9	7.1	1.23	【工事概要】 延長=0.8km 幅員=5.5(7.0)m
第1回審議 (R7年度)	事業採択後 5年経過 (事業費・工期)	R3	R12	15.0	1.16	【当初評価からの変更概要】 ・地質調査の結果、計画を変更したことによる増額 ・計画変更設計等に時間を要したことによる工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

一般国道207号「佐瀬拡幅Ⅱ」は、当該区間の車道幅員が狭小で屈曲したカーブが連続しているため、整備を行うことで、円滑な交通の確保を目的としている。

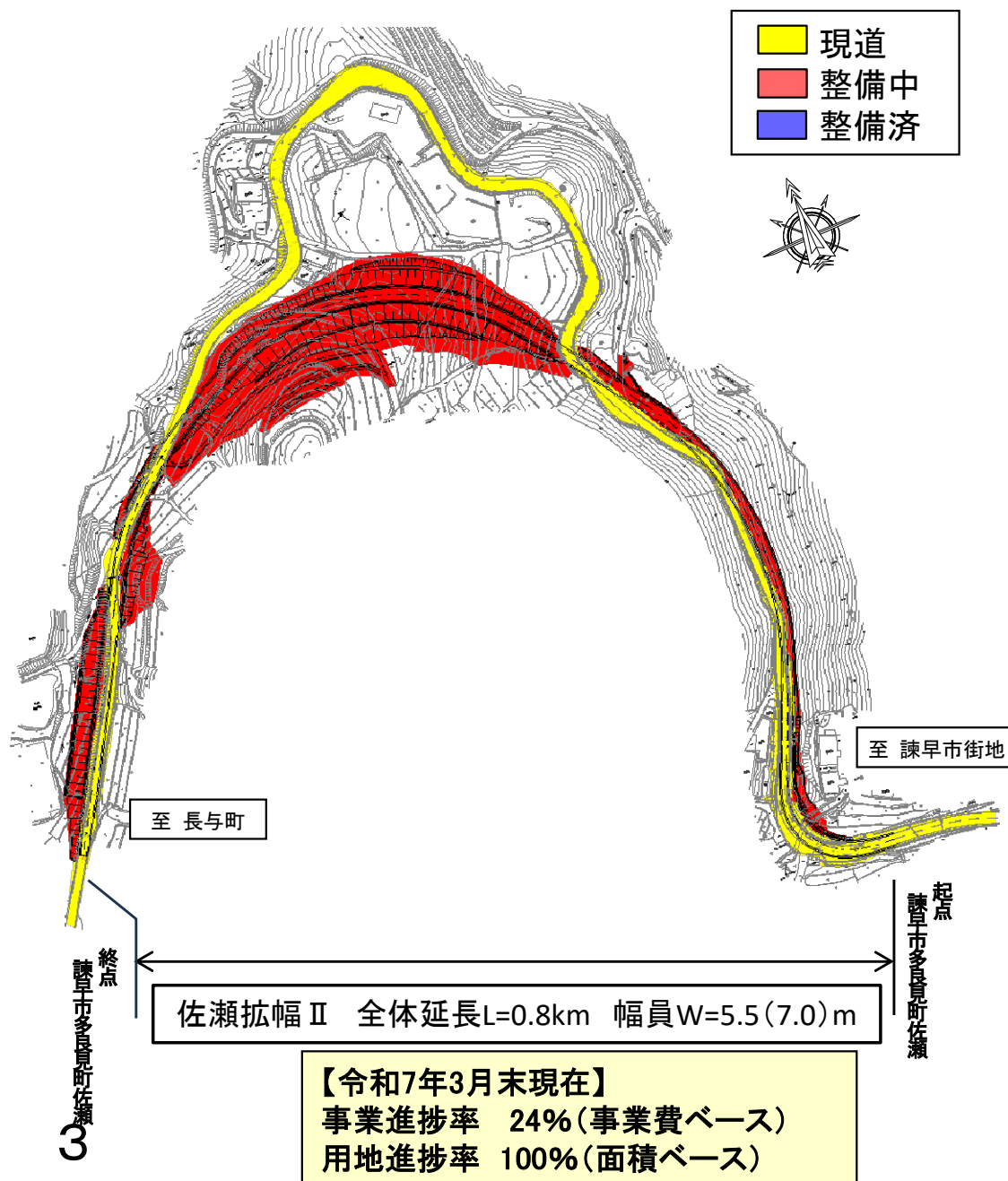
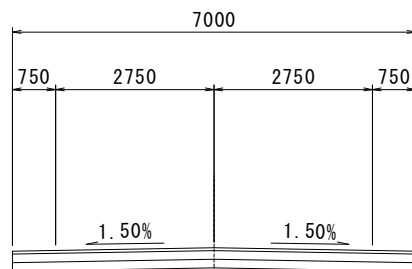
◆事業概要

全体延長	L=0.8km
幅員	W=5.5(7.0)m
計画交通量(R22)	988台/日

◆事業経過

令和 3年度	事業化
令和 4年度	計画説明会
令和 5年度	用地買収着手
令和 6年度	工事着手

◆標準横断図



3. 事業の効果・必要性

【整備理由】

当路線は、諫早市と時津町を結び、緊急輸送道路に指定されており、産業振興等で重要な路線である。

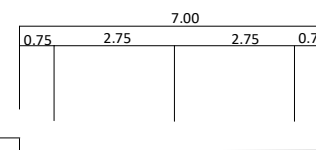
しかしながら、当該区間の車道は幅員が狭小で、屈曲したカーブが連続し、見通しも悪く、車両の安全で円滑な交通に支障をきたしていることから、道路整備を行い、安全で円滑な交通の確保と、緊急輸送道路の機能強化を図るものである。

また、周辺地域は県下でも有数のみかんの生産地であり、多良見町舟津にある選果場や長与町にあるJAの支店へ集積されており、この整備により、選果場へのアクセス性向上による地域産業の活性化が期待される。

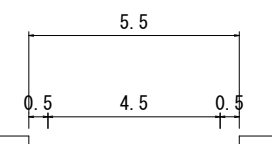
【整備目的】

- 安全で円滑な交通の確保
- 緊急輸送道路の機能強化
- 地域産業の活性化

標準断面図



現況断面図



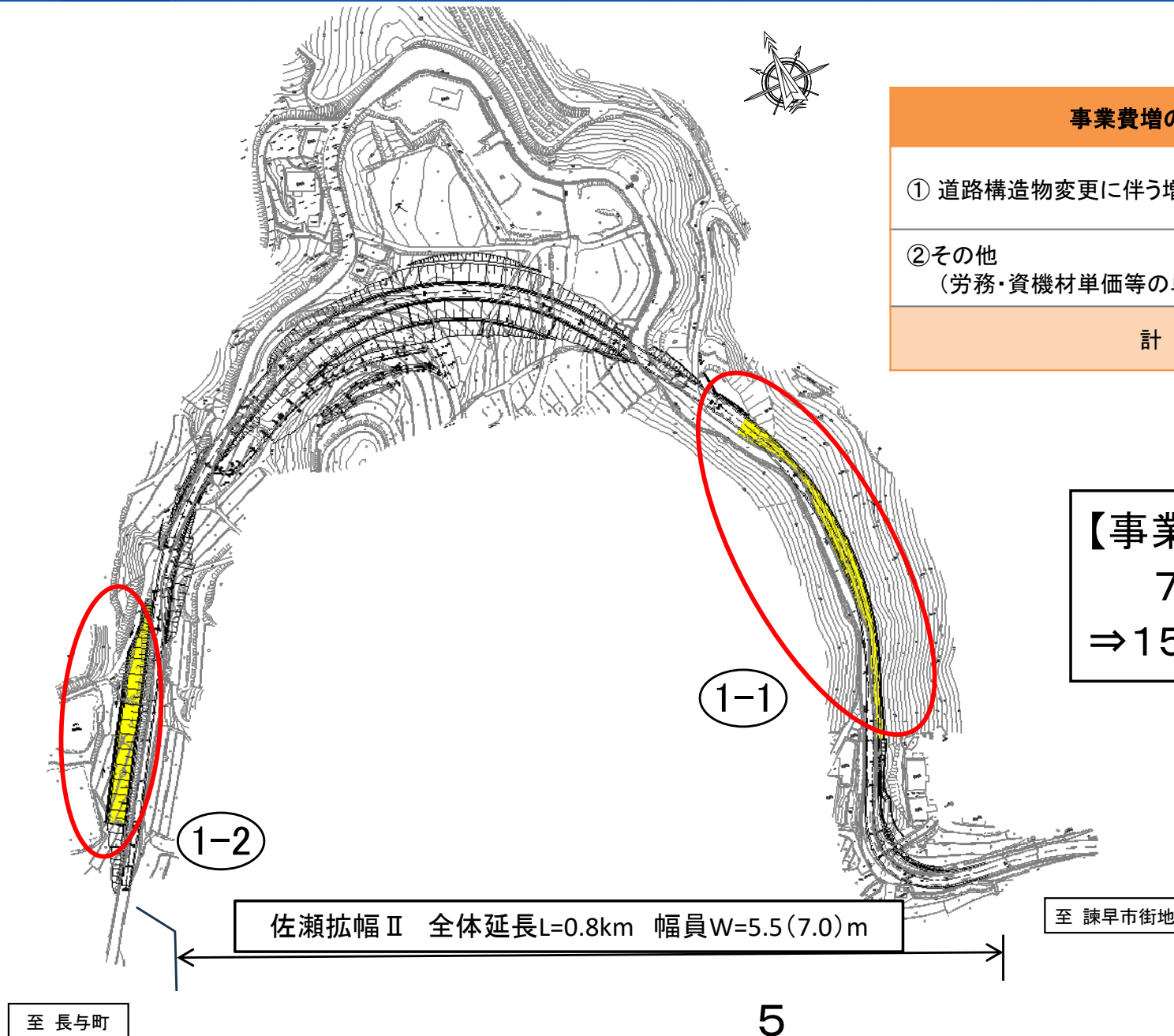
佐瀬拡幅
H24～R2

佐瀬拡幅Ⅱ L=0.8km W=5.5(7.0)m



JA長崎せいひ
伊木力みかん選果場
2.0km先

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)



事業費増の内容	増額
① 道路構造物変更に伴う増額	約 3.9億円
②その他 (労務・資機材単価等の単価上昇に伴う増額)	約 4.0億円
計	約 7.9億円

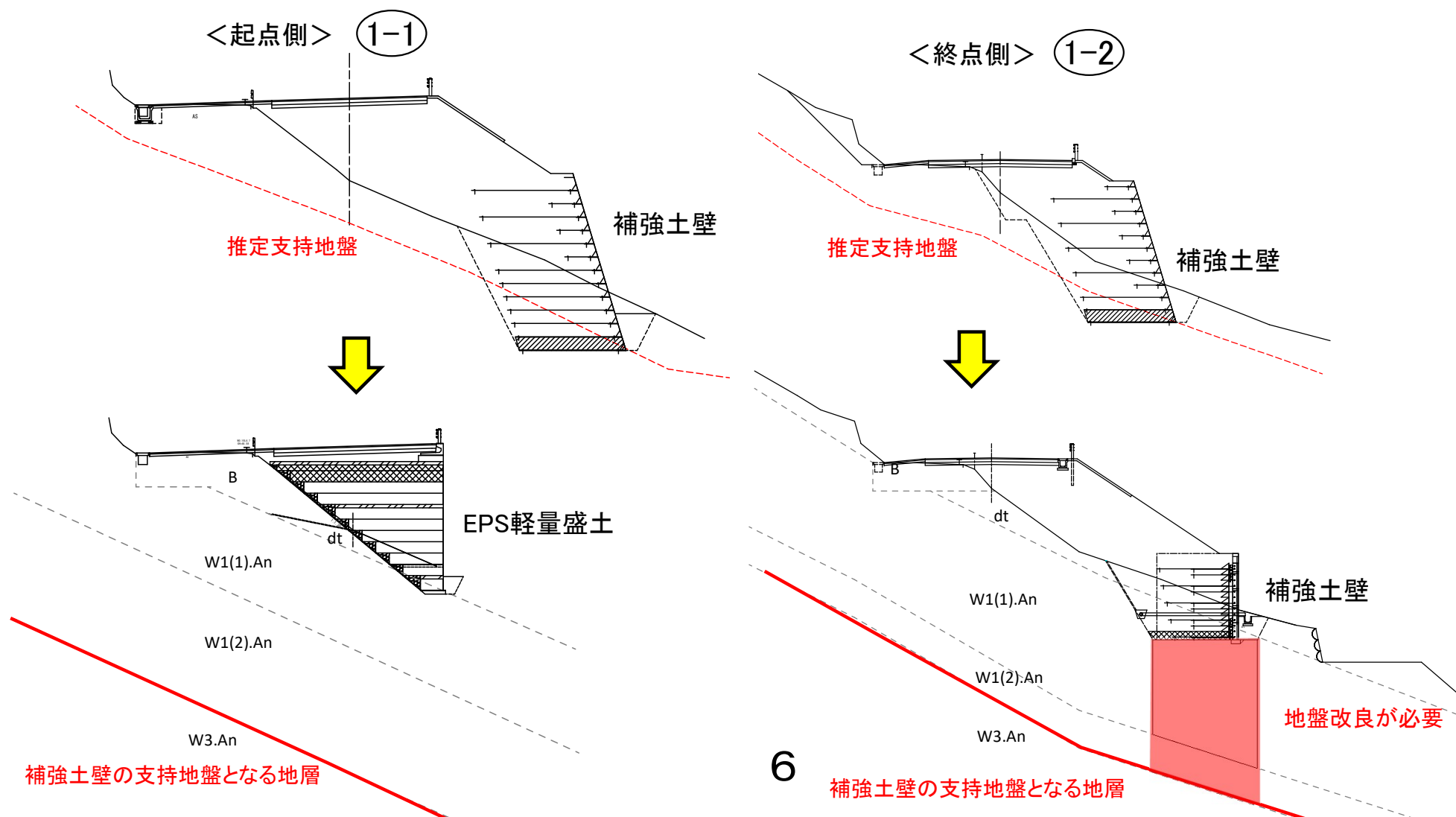
【事業費増】
 7.1億円(前回)
 ⇒15.0億円(今回)

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

①道路構造物変更に伴う増額

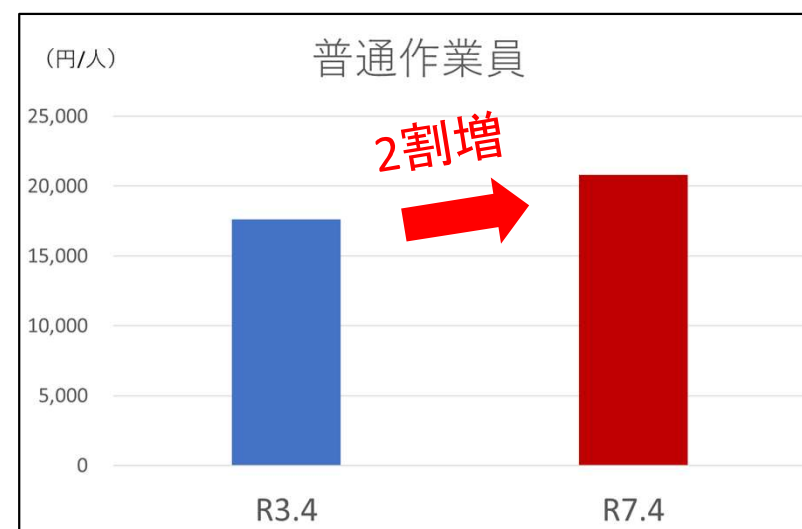
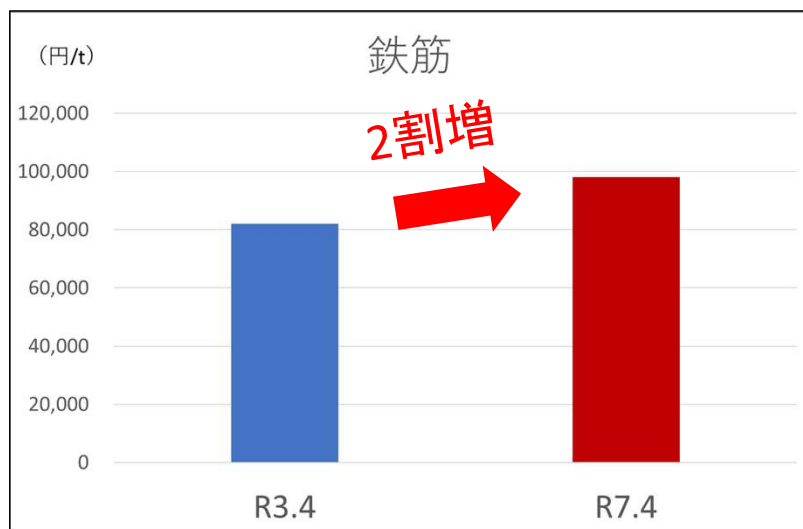
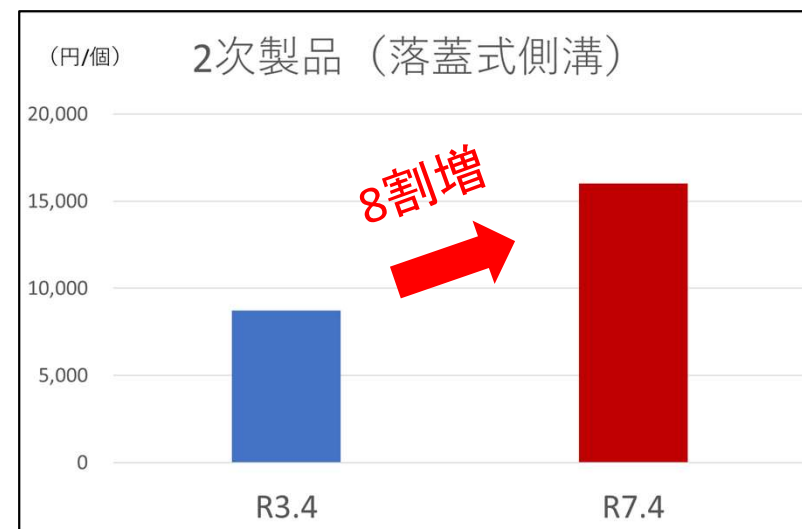
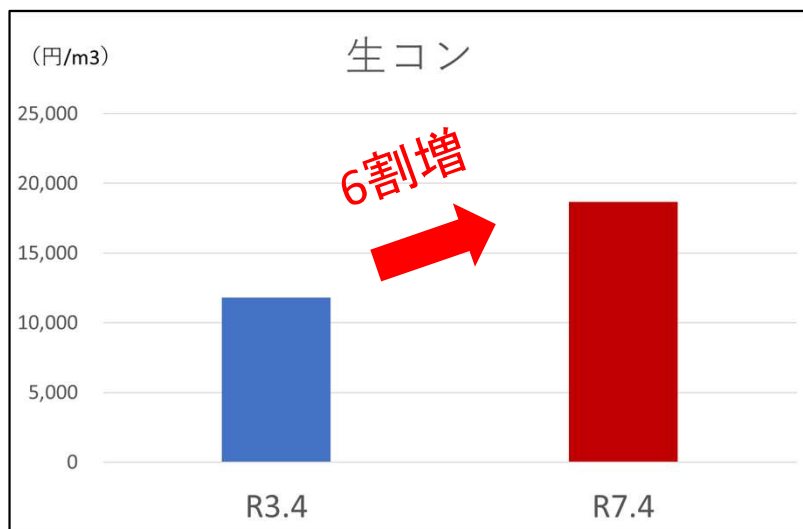
横断図

・地質調査の結果、基礎部の地耐力が見込めないため、
起点側は軽量盛土工に、終点側は地盤改良を伴う補強土壁に道路構造物を変更したことによる工事費の増
(約3.9億円)



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
②その他	約4.0億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など



4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】 R9(前回)→R12(今回)

- ・地質調査の結果、道路構造物の検討が必要となったことによる事業期間の延長
- ・軽量盛土工および補強土壁に伴う地盤改良工の工事期間の増

◆工程(前回)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
測量・地質調査							
道路設計							
用地補償交渉							
工事							

(今回)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
測量・地質調査										
道路設計										
用地補償交渉										
工事										

5. 社会経済情勢等の変化

- ◆ 長崎県サイクルツーリズム（自転車を活用した観光振興に資する取組）において、令和3年に設定された大村湾南部地域サイクリングルートに本事業区間が含まれている。本事業を推進することによって、自転車走行の安全性向上にも寄与する。

大村湾南部地域サイクリングルート

○自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行や、サイクリングイベントの開催等を通じた観光地域づくりを促進し、自転車を活用した地域の活性化を目的として、長崎県サイクルツーリズム推進協議会を平成30年に設置。

長崎県サイクルツーリズム推進協議会
・走行環境・受入環境整備や情報発信等を実施
・メンバー（観光連盟、二輪車自転車商協同組合、行政等）

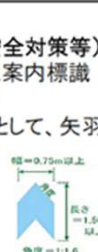
愛称は大村湾ZEKKEI

平成30年度「長崎県サイクルツーリズム推進協議会地域部会」を設置。下記ルートの設定ならびに距離やターゲット、高低差等に応じたコース設定（初級者、中級者、上級者）の検討を実施。



快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 走行環境の整備
(コース案内や走行時の安全対策等)
・各地域の特色を活かした案内標識のデザイン検討及び設置
・自転車通行空間の整備として、矢羽根型路面表示等の設置



路面表示

案内標識

サイクルツーリズム推進のための取組

- 受入環境の整備(休憩所、メンテナンス・サポート体制等)
・サイクルスタンドやメンテナンススペースの設置が可能な既存休憩施設の活用手法を検討
・地域のサイクルショップのサポート体制の構築を検討
- 魅力づくり(滞在コンテンツの充実・強化等)
・宿泊施設、温泉施設、商業・物産販売施設等において喜ばれるサービス等の調査
・ビューポイントの選定
- 情報発信(ルートマップ、ICTの活用等)
・ルートマップ等の作成とICTを活用した情報発信方法の検討



佐瀬拡幅Ⅱ 事業区間



6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	—	1. 58 = 15.19億円／9.58億円
全事業	1. 23 = 7.49億円／6.10億円	1. 16 = 15.19億円／13.05億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改定
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・工期の延長

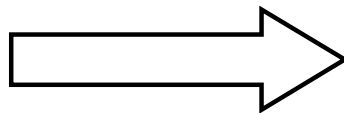
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

7. 対応方針(原案)

- ◆ 一般国道207号(佐瀬拡幅Ⅱ)は、当該区間の車道幅員が狭小で屈曲したカーブが連続しているため、整備を行うことで、円滑な交通の確保を目的としている。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで24%[3.6億円/15.0億円]であり、用地進捗率は100%となっている。(令和7年3月末現在)
- ◆ 「諫早市」や「国道207号改良促進期成会同盟会」から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続